

関連文化財群 5 南郡衆とキリシタン信仰の証

大友氏が豊後国一帯を支配した中世。大友家臣団で「南郡衆」と呼ばれた北志賀氏・南志賀氏・入田氏・朽網氏・田北氏などが直入郡を舞台に躍動し、乱世を力強く生きた。彼らが拠点とした中世山城（松牟礼城、田北城、南山城、山野城、津賀牟礼城など）が各地域に残る。九州各地で行われた争いで重要な役割を担い、重臣として加判衆も務めるなど、大友氏を支えてきた。

大友宗麟の時代、キリスト教布教の拠点となった府内（大分市）と九州各地（長崎や福岡）を往来する際に、宣教師達は必ず直入郡を通過した。ルイス・フロイスの『日本史』をはじめとする宣教師達の記録からも、直入郡で布教活動が盛んに行われ、多くのキリスト教信者が誕生したことがわかる。

都野地区から長湯地区にかけての地域を古くは「朽網」と言い、朽網氏が山野城を拠点にこの地を領した。都野地区の上城遺跡や小路遺跡からは、中世の建物跡が検出され、法花・白磁・青磁などの輸入陶磁器片が出土した。領主朽網宗歴の墓も残る。ここでは「ルカス」という信者が教会を建設し、墓地に石の大十字架を建てたと『日本史』には記され、それを裏付けるかのように長湯地区に原のキリシタン墓碑（INRI 碑）や日向塚の千十字架残欠が残る。一方、岡城を拠点にその周辺域を領したのが北志賀氏である。天正 14 ～ 15 年（1586 ～ 87）の豊薩戦争にて、岡城に拠り島津義弘の大軍を防いだことで知られる志賀親次（ドン・パウロ）もまた熱心なキリスト教信者であった。領内にかなりの数の信者がいたと考えられ、城下町の傍らには洞窟礼拝堂と思われる遺跡が残る。

禁教期（岡藩時代）になると、多くのキリスト教信者が棄教を余儀なくされた。藩政資料等の記録史料にその一端を垣間見ることができ、万治 3 年（1660）に起こった豊後崩れ（豊後露見）を機に、宗門改めは一層厳しくなっていた。また、「サンチャゴの鐘」と市民に親しまれてきた銅鐘もまた確かなキリシタン遺物のひとつである。十字章とともに「1612」と「HOSPITAL SANTIAGO」の文字が陽刻されており、慶長 17 年（1612）製であることと、長崎に当時あったサンチャゴ病院（聖ヤコブ病院）のものであったらしいことがわかる。どのような経緯を経て本市に伝来したかは明らかでないが、長らく岡城内で保管され、廃城後に中川神社へと移された。

このように、南郡衆と呼ばれ大友氏を支えたつわもの達の足跡とともに、領内に広がったキリシタン信仰の証を本市の文化財に見出すことができ、岡藩が成立する直前の時代の貴重な歴史を物語っている。



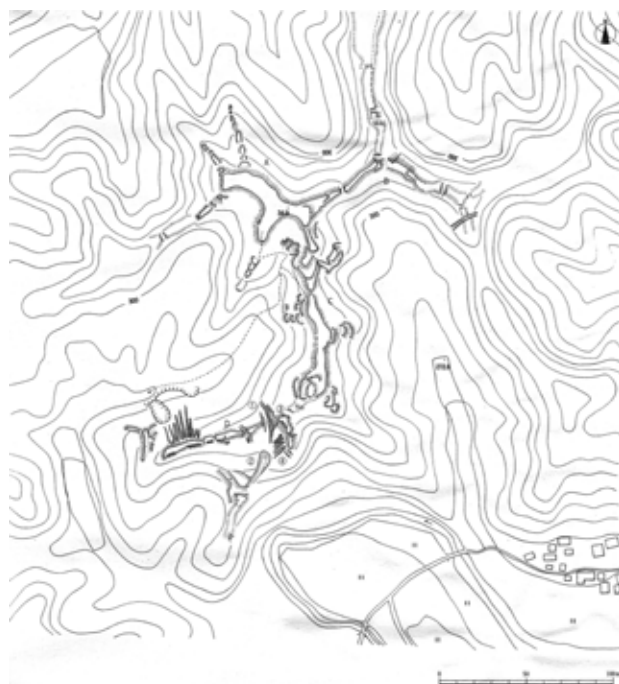
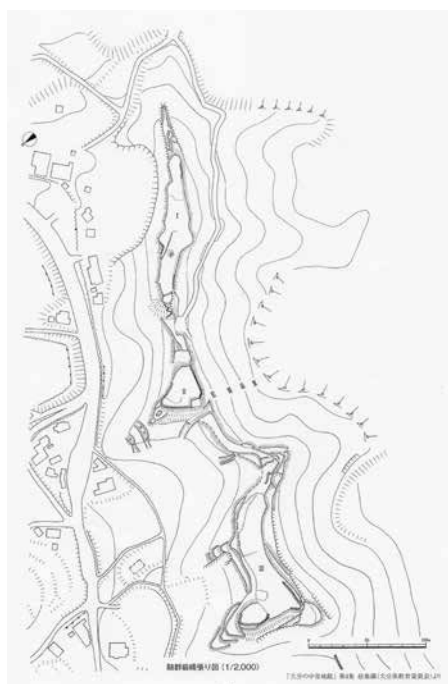
銅鐘（サンチャゴの鐘）



原のキリシタン墓碑



キリシタン洞窟礼拝堂



左：騎牟礼城跡、右：津賀牟礼城跡の縄張り図（『大分の中世城館』第4巻）より

【構成文化財】

	分類	名称	指定等
1	有形文化財（美術工芸品）	銅鐘（サンチャゴの鐘）	国指定
2	記念物（遺跡）	岡城跡	国指定
3	記念物（遺跡）	キリシタン洞窟礼拝堂	県指定
4	記念物（遺跡）	原のキリシタン墓碑	県指定
5	有形文化財（建造物）	日向塚の千十字架残欠	市指定
6	有形文化財（建造物）	伯楽天王	市指定
7	有形文化財（美術工芸品）	中川藩資料	市指定
8	記念物（遺跡）	鏡処刑場跡	市指定
9	記念物（遺跡）	山野城跡	市指定
10	記念物（遺跡）	南山城跡	市指定
11	記念物（遺跡）	朽網宗歴の墓	市指定
12	記念物（遺跡）	義天公の墓	市指定
13	有形文化財（美術工芸品）	上城・中殿・小路遺跡出土資料	未指定
14	記念物（遺跡）	真法院の田北家墓地石塔群	未指定
15	記念物（遺跡）	津賀牟礼城跡	未指定
16	記念物（遺跡）	騎牟礼城跡	未指定
17	記念物（遺跡）	高城跡	未指定
18	記念物（遺跡）	緩木城跡	未指定
19	記念物（遺跡）	駄原城跡	未指定
20	記念物（遺跡）	笹原目城跡	未指定
21	記念物（遺跡）	小松原城跡	未指定
22	記念物（遺跡）	菅迫城跡	未指定
23	記念物（遺跡）	牧ノ城跡	未指定
24	記念物（遺跡）	鬼ヶ城跡	未指定
25	記念物（遺跡）	戸次城跡	未指定
26	記念物（遺跡）	下原城跡	未指定
27	記念物（遺跡）	三船城跡	未指定
28	記念物（遺跡）	田北城跡	未指定
29	記念物（遺跡）	松牟礼城跡	未指定
30	記念物（遺跡）	法螺貝城跡	未指定

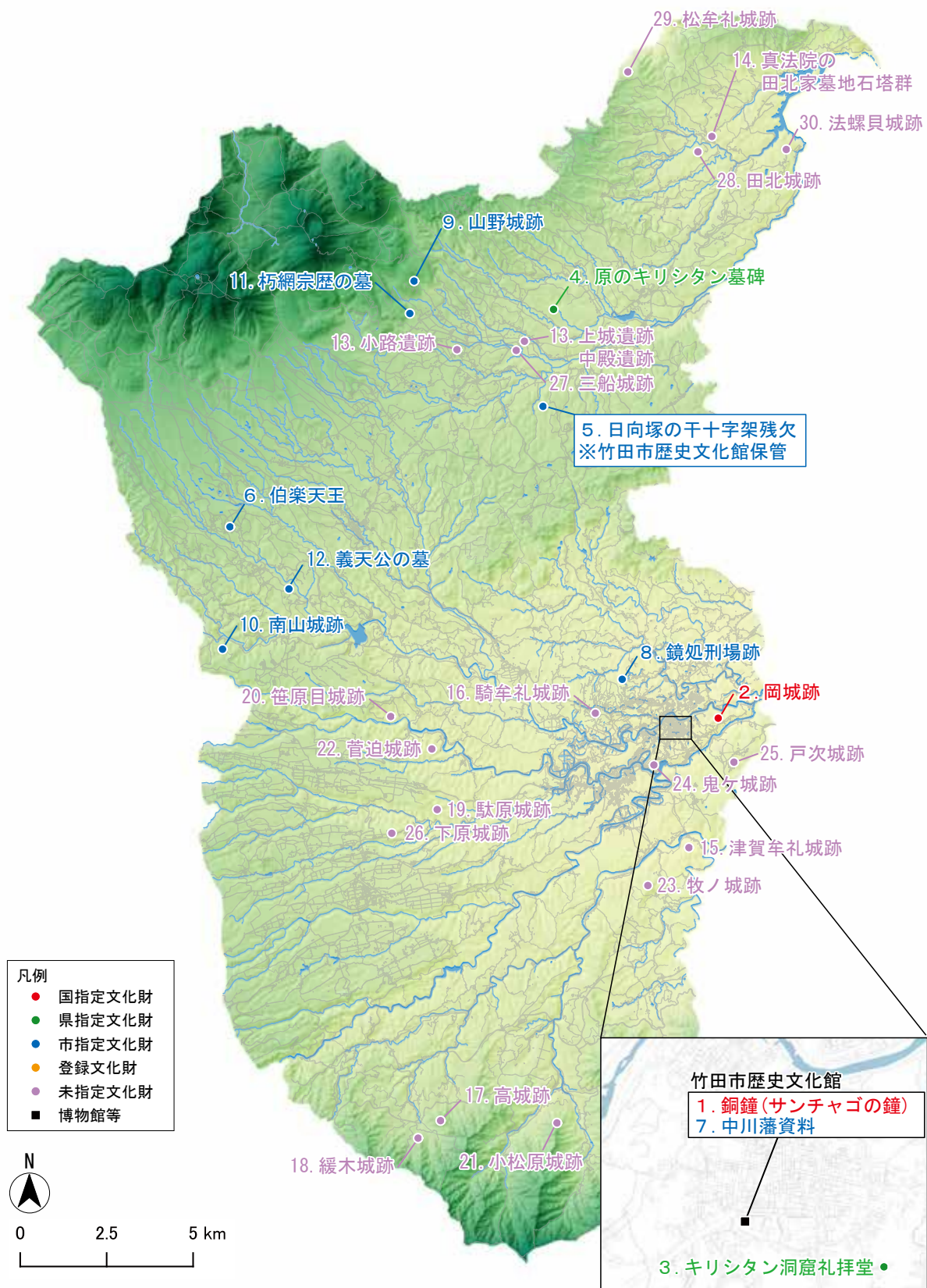


図 27 : 南郡衆とキリシタン信仰の証位置図

関連文化財群 6 車橋がつなぐ街道の歴史文化

本市は九州における内陸交通の要衝地にあたるため、日田往還や肥後街道などの主要街道が市域の北部を通過している。旧久住町の一部は肥後藩領（久住手永）であった。日田往還と肥後街道が交わる地点に久住の宿場町が整備され、町には御茶屋や人馬会所が置かれた。肥後街道には神馬橋、田町橋、境川橋など、近世に造られた石橋（石造車橋）が今も残る。坂本龍馬を連れて肥後街道を長崎に向かった勝海舟が「小流甚だ多く、架する橋は皆石橋、円形に畳み、橋杭なし」と感心した程で、路傍には一里山石燈籠や知事様塔も残る。一方、日田往還沿いにも松並木や久住高原石燈籠が残り、街道の痕跡を確認することができる。この他、米賀橋、潤島橋、岩戸橋、山王橋をはじめとする明治から大正時代に造られた石橋も本市に多く分布する。

肥後街道沿いには、他にも肥後藩ゆかりの文化財が点在する。そのうち肥後藩主加藤清正が公衆のための遊樂地としたと伝わる納池公園は、明治6年（1873）の「太政官布達第16号」に関する由緒ある公園のひとつでもある。また、加藤清正により再建されて以来、久住手永一円の氏神として崇拜されてきた久住神社の夏越祭では、建宮獅子舞が先導する神幸行列や曳山行事が今日まで行われてきた。

一方の岡藩領でも、参勤交代道をはじめとする大小様々な道が、岡城と城下町を起点に各地へ延び、藩内の村々や藩の外をつないだ。これらの道を経由して、人・物資・情報が動き、岡藩の歴史文化は形づくられてきた。岡藩の旧城下町である竹田町は、近世以来の町割りをほぼ維持し、藩営の宿泊所であった御客屋敷も残る。岡城へと続く道、村々へと続く道も絵図などから当時のルートを辿ることも可能である。近世まで城下町への出入りは周囲を囲む丘陵を越える必要があったが、近代になり久戸谷旧隧道など多くのトンネルが掘られ、いつしか旧城下町は「レンコンまち」と呼ばれるようになった。さらに大正13年（1924）に豊後竹田駅が開業し、本市は近代化を遂げていった。

近代化に伴い、人々は竹田の起伏に富んだ特異な地形を克服するために、石橋を架けトンネルを開削するなど多くの道を切り開いてきた。時代とともに街道はその姿を変え、本市独特の景観を生み出してきた。



神馬の石橋



久住高原の石燈籠



納池公園



岩戸橋



岡城々下家中図（中川藩資料）



山王橋



久住夏越祭の曳山行事

【構成文化財】

	分類	名称	指定等
1	記念物（遺跡）	岡城跡	国指定
2	有形文化財（建造物）	岩戸橋	県指定
3	記念物（名勝地）	納池公園	県指定
4	有形文化財（建造物）	遠見燈籠	市指定
5	有形文化財（建造物）	久住高原石燈籠	市指定
6	有形文化財（建造物）	一里山石燈籠	市指定
7	有形文化財（建造物）	山王橋	市指定
8	有形文化財（建造物）	神馬の石橋	市指定
9	有形文化財（建造物）	潤島の石橋	市指定
10	有形文化財（建造物）	米賀橋	市指定
11	有形文化財（美術工芸品）	岩戸橋文書	市指定
12	有形文化財（美術工芸品）	中川藩資料	市指定
13	民俗文化財（有形の民俗文化財）	相ヶ鶴井手家の石蔵	市指定
14	民俗文化財（無形の民俗文化財）	久住夏越祭の曳山行事	市指定
15	記念物（遺跡）	御客屋敷	市指定
16	記念物（遺跡）	久戸谷旧隧道	市指定
17	記念物（名勝地）	松並木	市指定
18	有形文化財（建造物）	田町橋（田町川橋）	未指定
19	有形文化財（建造物）	境川橋（境川古橋）	未指定
20	有形文化財（建造物）	旧住吉橋	未指定
21	有形文化財（建造物）	旧松尾橋	未指定
22	有形文化財（建造物）	旧宮瀬橋	未指定
23	有形文化財（建造物）	知事様塔（3基）	未指定
24	有形文化財（美術工芸品）	肥後藩久住手永関係資料	未指定
25	記念物（遺跡）	久住御茶屋跡	未指定
26	記念物（遺跡）	岡城路跡	未指定
27	記念物（遺跡）	肥後街道（肥後往還・豊後街道）跡	未指定
28	記念物（遺跡）	日田往還跡	未指定
29	記念物（遺跡）	その他、近世古道跡	未指定
30	由緒地（神社）	久住神社	未指定
31	由緒地（神社）	建宮神社	未指定



図 28 : 車橋がつなぐ街道の歴史文化位置図